

国立大学法人長岡技術科学大学

平成20年度技術開発懇談会

1. 趣 旨 本学と地域社会との連携・交流を深め、より積極的な技術開発等の推進に貢献することを目的に開催する。
2. 主 催 長岡技術科学大学テクノインキュベーションセンター
財団法人長岡技術科学大学技術開発教育研究振興会
長岡技術者協会
3. 後 援 長岡技術科学大学協力会
4. 開催日・テーマ・話題提供者

開 催 日	時 間	テ ー マ	話題提供者
5 月 13 日 (火)	18:00 ～20:00	先端技術応用による特徴ある地場産業活性化への試み	物質・材料系 教授 小林 高臣
6 月 17 日 (火)	18:00 ～20:00	お客さんが欲しくなるようなデザインを目指して	経営情報系 准教授 綿引 宣道 経営情報系 准教授 マーラシンハ チャンドラジット ア ーシュボーダ
7 月 10 日 (木)	18:00 ～20:00	ハイブリッド橋梁の動向	環境・建設系 教授 長井 正嗣
8 月 26 日 (火)	18:00 ～20:00	生産革新活動の展開 ～国内工場から海外工場へ～	デンセイ・ラムダ(株) 生産本部長 本山 宗尚
9 月 17 日 (水)	18:00 ～20:00	太陽光・太陽熱・排熱の有効利用	機械系 准教授 山田 昇
11 月 18 日 (火)	18:00 ～20:00	カワウの漁業被害防除に向けて～科学の力はカワウに勝てるか？～	生物系 助教 山本 麻希

5. 会 場 A ニュー大黒ビル 6 階「会議室」
 (長岡市城内町 3-8-1 TEL 0258-36-7788)
6. 参加対象者 地元の産・官・学の研究者、技術者、経営者等を対象とします。
7. 募集人員 各 20 人程度
8. 参 加 費 2,000 円 (開催日当日、会場受付でお支払いください。)
9. 申込方法 希望するテーマを各開催日の 3 日前までに、電話、FAX、メール等でお申し込みください。
10. 申 込 先 国立大学法人長岡技術科学大学
 総務部 産学・地域連携課 産学・地域連携係 (泉田、西田)
 (照会先) 〒940-2188 長岡市上富岡町 1603-1
 TEL 0258-47-9278
 FAX 0258-47-9040
 E-mail sangaku@jcom.nagaokaut.ac.jp
11. そ の 他 懇談会には軽い食事をご用意いたしております。



長岡技術科学大学

①平成20年5月13日(火)

【先端技術応用による特徴ある地場産業活性化への試み】

物質・材料系 教授 小林 高臣 先生

オゾンや超音波を用いた産学連携活動を紹介します。

②平成20年6月17日(火)

【お客さんが欲しくなるようなデザインを目指して】

経営情報系 准教授 綿引 宣道 先生

経営情報系 准教授 マーラシンハ チャンドラジット
アーシュボーダ 先生

人間工学から派生した感性工学を使って、愛着のわく商品のデザインを支援します。これは、形だけではなく色、匂い、音、味、感触といった五感にうったえる方法をとります。官能試験とも似たものがありますが、個人の好みに合わせたものを作る事が可能になります。これは日本で生まれ育って、海外に広がりつつある研究です。食品、繊維などデザインを重視する産業で、中小企業にお勧めです。

③平成20年7月17日(木)

【ハイブリッド橋梁の動向】

環境・建設系 教授 長井 正嗣 先生

建設事業における厳しいコスト縮減が要求される中、橋の世界にも大きな変革が生じています。国が貧しかった1960年代、取り組まれたハイブリッド橋梁は多くの失敗を重ね、その姿を消しました。しかし、コスト縮減要求の中、これに応えるにはハイブリッド橋梁を復活させる必要があります。ハイブリッド橋梁とはどのようなものか、ハイブリッド橋梁に導入される新しい設計法の動向について解説します。あわせ、歴史的な橋梁、橋の惨事、世界で活躍する日本の橋屋の最新動向を、時間の範囲で紹介いたします。

③平成20年8月26日(火)

【生産革新活動の展開 ～国内工場から海外工場へ～】

デンセイ・ラムダ(株) 生産本部長 本山 宗尚 氏

長岡事業所のスイッチング電源製造現場において、生産革新活動で得られた成果を海外工場へ展開した事例紹介です。「リードタイムの短縮」「コストの削減」「仕掛品の削減」さらには混流生産に取り組み、マレーシア工場へ移管、立ち上げから今日までを紹介し、企業の取り組みの一端を紹介いたします。なお、本発表は(社)日本能率協会主催「生産現場改善シンポジウム(2007年10月18日)」で優秀賞をいただきました。

④平成20年9月17日(水)

【太陽光・太陽熱・排熱の有効利用】

機械系 准教授 山田 昇 先生

太陽光の集光や制御、太陽熱利用システム、低温排熱からの動力回収技術などに関するトピックと研究内容について紹介します。背景となるエネルギー・環境問題についても触れたいと思います。

⑥平成20年11月18日(火)

【カワウの漁業被害防除に向けて～科学の力はカワウに勝てるか?～】

生物・環境系 助教 山本 麻希 先生

カワウは大型の魚食性水鳥で新潟県内でも個体数が急増し、鮎、錦鯉などの食害が深刻な問題となっています。学習力の高いカワウから放流魚を守るため、様々な取り組みが行われているが、未だ効果的な防除法は確立されていません。漁業者の負担を少しでも軽減するために、科学の力でカワウを撃退することは可能なのか?新潟県での被害の現状とその防除への取り組み、また、今後開発すべき効果的な防除具のアイデアについて紹介します。

平成 20 年度 技術開発懇談会 申込書

国立大学法人長岡技術科学大学

総務部 産学・地域連携課 産学・地域連携係（泉田、西田） 行

TEL 0258-47-9278

FAX 0258-47-9040

E-mail sangaku@jcom.nagaokaut.ac.jp

【テーマ一覧】

開催番号	開催日	テーマ	話題提供者
①	5月13日（火）	先端技術応用による特徴ある地場産業活性化への試み	物質・材料系 教授 小林 高臣
②	6月17日（火）	お客さんが欲しくなるようなデザインを目指して	経営情報系 准教授 綿引 宣道 経営情報系 准教授 マーラシンハ チャン ドラジット アーシュ ボーダ
③	7月10日（木）	ハイブリッド橋梁の動向	環境・建設系 教授 長井 正嗣
③	8月26日（火）	生産革新活動の展開 ～国内工場から海外工場へ～	デンセイラムダ(株) 生産本部長 本山 宗尚
④	9月17日（水）	太陽光・太陽熱・排熱の有効利用	機械系 准教授 山田 昇
⑥	11月18日（火）	カワウの漁業被害防除に向けて～科学の力はカワウに勝てるか？～	生物系 助教 山本 麻希

【出席者】※

所属・職名	氏名	参加番号	所属・職名	氏名	参加番号
加入団体等 (○で囲んでください。)	一般申込 財団賛助会員 技術者協会会員 協力会会員	備考			

事業所名		連絡担当者	
所在地		電話	

※ 所属・職名欄、氏名欄に記入願います。

参加番号欄には、テーマ一覧から参加する開催番号(複数可)を記入願います。

用紙が不足の際は、コピー願います。

なお、この用紙以外であっても、所要事項を明記したものであれば、申込を受け付けます。